

えひめの子どもたちのマナー

～人とのよい関係を築くために～

愛媛県教育委員会教育長 高岡 博也

県内全ての小中学校をオンラインで結んで一斉ライブ授業を行うという、全国でも他に類を見ない「えひめのひまわりS TOP! plus」。今年度は、「人とのよい関係を築くために」をテーマに、小学校6年生と中学校1年生約23,000人が、互いの顔を見て安心な授業を行いました。

ライブ授業当日は、ゲームや絵本を用いたワークシート等を通して、「互いの違いを認め合うことの大切さ」、いじめられては困る人への寄り添うべきか、いじめの被害に遭ったら自分とはどう行動すべきか」といじめの被害に遭ったら向き合い、みんなが前向きな気持ちで学校生活を送るための熱心な話し合いが行われました。90分という時間では足りなかったかも知れませんが、いじめの問題について、他学年の友達や、家族など周りの大人の人と一緒に考えながらかかるとともに、この貴重なことを自分の生活に取り入れ、いじめのない学校、学校づくりに向けて取り組んでいくことと期されています。

また、家庭から、県内の公立小中学校で、小学校6年生から中学校3年生を対象に、1人1台端末を活用して、人とのよい関係を築く力を伸ばしていくための「ジャンミカタプログラム」の活用がスタートしますが、この「ジャンミカタ」という言葉には、次のような意味を込めています。

- 自分が誰かの味方（ミカタ）になる
- 自分の味方（ミカタ）を増やす
- 自分が自分の味方（ミカタ）になる
- 自分や誰かの見方（ミカタ）を振り返る

今回のライブ授業も、「自分を知らないと自分では大切にできる人は他人も大切にできない」ということが学びでした。今後、このプログラムも活用しながら、自分や誰かの味方を見つけてほしいと願っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが安心して毎日を送っていくためには、家族や周囲の大人たちの理解とサポート、地域社会全体で人権を尊重する雰囲気も大切です。目標が子どもたちの様子に目を配り、声にならない声に耳を傾けることで、健やかな成長を支えていただきますようお願いいたします。

最後に、本事業の開催に当たり、御理解と御協力をいただいた皆様へ、心から感謝申し上げます。

相談窓口

困ったときは、一人で悩まないで

いじめ相談ダイヤル24

24時間受付

0120-0-78310

愛媛大学心理学部学生から

愛媛大学心理学部の学生から

新卒採用や日々のライブ授業、経験が活かせる機会をありがとうございます。

会議室にいる児童生徒だけでなく、オンラインでつながった県内全国の児童生徒が全員で一つのテーマについて考えたり意見を出したりと積極的に参加しました。みんながよりよい人間関係を築く方について考えを深めている様子から、私たちも自分よりよい人間関係を築いていくことの大切さを再認識することができました。今回のライブ授業は大きな学びを、それぞれが学校で取り組める、「互いの個性を尊重すること」が大切だと感じました。児童生徒の皆さんはこの今回のライブ授業で学んだことを大切に、大切に生きてほしいです。私たちも多くの授業で学んだことをもとに活動に取り組めるよう励みます。

来年度は来年度から実施します!

令和7年度は、男子の中学校でセンター校として「えひめいじめSTOP! plus」を開催しました。

愛媛県教育委員会
人権教育課
2025年(令和7年)
2月発行

えひめ愛顔の子ども新聞

小中学生 約23,000人が参加

えひめいじめSTOP! plus

11月21日

人とよりよい関係を築くために

県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!デイplus開催!

令和6年11月21日(木)、松前県文化センターをメイン会場に、県内すべての小中学校をオンラインで結んで一斉ライブ授業「いじめSTOP!デイplus」が開催されました。小学校6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、「人とよりよい関係を築くために」をテーマに話し合い、学び、考えを深めました。

ライブ授業の前半では、ワークシートを通して、自分にとっての普通は他人にとっては普通ではないことを学びました。「カバン持ちゲーム」ではセンター校が代表して実践し、登場人物の行動について全員で考え話し合いました。「友達が増えるの嬉しいことに気付くことができたらいいな」といじめの被害に遭いたらどうするかについて多様な意見が交わされました。授業の中間には、ゲストのライセンス講師一裕さんが作った絵本「グロはいっちゃったよ」の読後感、藤原さんと井いじめへの対応書について話し合いました。ライブ授業を通して、自分や他人を守ることが、辛い思いを他人に寄り添う、守りながら大切にするという思いが育まれました。授業の後半には、人間環境大学の伊藤義徳先生から説明があり、よりよい人間関係を築くために必要なことについて話し合いました。そして、自分や周りの人のごよと知ることで、いじめの起こりにくく学校づくりに関心を持つことができました。

ゲームを通して ライブ授業当日

ゲーム1【好きなお寿司ネタを教える・自己満足に何にかけて食べる?】

ゲームを通して、人はいろいろな考え方や捉え方があること、それには、正解も不正解もないということを学びました。そして、互いの個性を尊重し、認め合いながら生活することの大切さをみんなで確認しました。

ゲーム2【カバン持ちゲーム】

4人での調理器、じゃんけんに負けた人が他の人のカバンを次の電柱まで運ぶカバン持ちゲームを通して、いじめについて考えました。【電柱に届く、交差点のじゃんけんが行われませんか!】、その後、4人それぞれ立場で考えてみることを考えました。

【カバン持ちゲームを通して話し合ったこと】

- ・間違ったことを「間違っているよ」と言葉にできる強い気持ちがあること、みんなが楽しい雰囲気を作ることが出来る。

【ライブ授業後の感想】

Q「グロはいっちゃったよ」を聞いたときは、つらいかと思うと、絵本の「グロ」のように笑える人もあった。周りに人は実行されていることもあるかなと思いました。そのため、周りが辛い思いをしていないかと気をつかいました。尊重は自分もいじめをしついにうけるかもしれない。そして、人によって考え方は違うのだから、優しく受け止めてほしい。

Q 藤原さんの書いてある意味が最初は分からなかったが、藤原さんの優しい声で、伝えたいことが分かってきた。「連れていってあげたいからあんか」という言葉がすごく心に響きました。これからも、できる限り助けたいと頑張りたいと思います。

Q「グロはいっちゃったよ」を初めて聞いたとき、違和感を感じました。グロと表現していることに驚きました。いじめられている子がいれば、その人を助けたい、今こうして感想を言っている意味もなくなるので、実行できるようにしたいと思いました。

絵本「グロはいっちゃったよ」を読んで

絵本「グロはいっちゃったよ」は、藤原さんご自身の体験をもとに「いじめ」をテーマに作られました。

この絵本の中大きなキーワード「グロ」について藤原さんにお話を伺いました。

グロ 自分の心の嫌だったことや、受け入れられなかった個性を言葉で表現。

クズリ 前やいじりをするもの、あるといいけど思っていることをクズリという言葉で表現。

もしいじめを受けたら、その状況から選んでほしいけど受けたいからあかん

【よりよい人間関係の築き方】について

人間環境大学総合心理学部の伊藤義徳先生から「よりよい人間関係の築き方」について説明がなされました。

よりよい人間関係を築くためには、「よいアクション」を積み重ねることが大切である」との話があり、その後ワークシート等を用いて自分自身で実践していき、自分自身でできることについて意見交換を行いました。

よいアクションを積み重ねよう!

- 個性を尊重し、違いを否定しない
- よいことをよくないこととすりかえてから行動する。
- 自分自身よりよいアクションを促す。
- 本をよんで、視野を広げる。
- 人の意見を一度受け入れて、考えてから行動する。
- いろいろな人と話をして、違いを認め合う。
- 自分を大切に、周りに優しくされる。

【ライブ授業後のアンケート】

Q えひめいじめSTOP! デイplusは参加者になりましたか?
満足度が高かった 42%
満足度が低かった 58%

Q いじめや差別について、今よりもよくなったと感じていますか?
満足度が高かった 46%
満足度が低かった 54%

Q いじめや差別について、今よりもよくなったと感じていますか?
満足度が高かった 49%
満足度が低かった 51%

Q カバン持ちゲームを通して、「グロはいっちゃったよ」の読みかたが分かったと感想を述べた人は、どのくらいいますか?
満足度が高かった 46%
満足度が低かった 54%

Q いじめSTOP! デイplusに参加して、やっぱりいじめはめんどくさいと思いませんか?
満足度が高かった 42%
満足度が低かった 58%

講師から

ライセンス 藤原一裕さん
小中学生の話し合いワークシートの様子を振り返りながら、「個性を認め合うことが大切」と提案されました。自分と違う人に出会った時、「あなた」というのではなく、「面白い」と受け取れることと人との違いを認めるかもしれないが、広い視野をもって人と関わることの大切さをみんなに伝えました。

伊藤義徳先生
いじめの被害に実際に向き合うみなさんには「いじめを受けている子は、いろいろな気持ちがあって、そこから出ていけなくなるかもしれない。だからいじめを受けている子に寄りかかると、そこから抜け出す困難を味わってしまう」と、アドバイスがありました。また、「自分にも周りに人にも優しくしてほしい」とエールを送りました。

【ライブ授業後の「保護者アンケート」 いじめをなくするために、お子さまたちに一言

「人それぞれの個性を尊重し、思いやりの心をもち、よりよい人間関係を築いてほしい」、「物事は言葉は理解できても、それを実行し、よりよい行動を取ることは難しいことだ」と思ったと、勇気をもらって話に出てほしい。」「助けを受けることは怖いのではない。自分の心をもち大切にしてほしい。」「「考え」ことを忘れず、楽しんでほしい。」「世界は自分が思っているよりずっといいし、場所もそう簡単にはなくなっていく」ということを伝えたい。

「アンケートに答えた保護者がくれるアクションを実行することで、自分の成長につながる機会がある」

「ジャンミカタプログラムが、自分よりよくなることを実感し、自分よりよくなることを教えてくれるから、はげまされる」

【えひめいじめSTOP! デイplus】で、ジャンミカタプログラムを先に体験した友達から、このような感想が寄せられました。

【アンケートに答えた保護者がくれるアクションを実行することで、自分の成長につながる機会がある】

「人と向き合う方が自分からいじめを避けたいと思ってきました」

「人と向き合う方が自分からいじめを避けたいと思ってきました」

【よいアクションを積み重ねよう!】

プログラムで取り組むことは、次の五つです。

- 21問のセルフチェックに自覚する。
- まず違うと気づいたらクイズやメッセージカード、心や体の状態を振り返る。
- 1ヶ月間取り組むたいアクションを一つ選択し、自分で作成しておく。
- 始めたアクションを1ヶ月間取り組む。
- 1ヶ月後、効果を確認する。

このプログラムには、教育委員会や大学だけでなく、みなさんのことを大切にしたい皆さんの大人たちの「願い」が込められています。この取組を通して、「一人ひとりがよりよい人間関係を築くための力を伸ばし、安心して生活できる環境を築く。いじめのない明るい明日を送ることができるようになればと思います。

【よりよい人間関係を築くために自分自身でできること】

個性を尊重し、違いを否定しない
よいことをよくないこととすりかえてから行動する。
自分自身よりよいアクションを促す。
本をよんで、視野を広げる。
人の意見を一度受け入れて、考えてから行動する。
いろいろな人と話をして、違いを認め合う。
自分を大切に、周りに優しくされる。

このプログラムには、教育委員会や大学だけでなく、みなさんのことを大切にしたい皆さんの大人たちの「願い」が込められています。この取組を通して、「一人ひとりがよりよい人間関係を築くための力を伸ばし、安心して生活できる環境を築く。いじめのない明るい明日を送ることができるようになればと思います。

【えひめいじめSTOP! デイplus】に参加しましたか?

満足度が高かった 40%
満足度が低かった 60%

満足度が高かった 46%
満足度が低かった 54%

満足度が高かった 49%
満足度が低かった 51%

満足度が高かった 46%
満足度が低かった 54%

満足度が高かった 42%
満足度が低かった 58%